

ておや だより

栃木県の特別支援教育を
つなぎます ひろげます ささえます

第 19 号 2022 年 9 月

栃木県特別支援教育手をつなぐ親の会 発行
〒320-0066 宇都宮市駒生 1-1-6 栃木県教育会館
TEL/FAX: 028-627-3603 E: teoya@pony.ocn.ne.jp

**3 年ぶりの県大会「芳賀大会」は、魅力たっぷり！
12 月 1 日は、ぜひ、益子町民会館へお越しください！**



＜県大会並びに研修会・芳賀大会＞

12 月 1 日（木）益子町民会館で 3 年ぶりに県大会が開催され、特に研修会では、素晴らしい発表者や講師の皆様をお招きしています。この大会・研修会を通して、「誰もが心豊かに生活できる共生社会」について考える機会になればと思います。芳賀地区の皆様が一丸となり、準備を進めています。ぜひ、一人でも多くの方に、ご参加いただけますようお願いいたします。

発表者・講師の皆様

アーティスト 飯山 太陽 様

ハイコーパック（株）社長 鈴木 健夫 様

書家 金澤 翔子 様 母 金澤 泰子 様

それぞれが素晴らしい方々ですが、紙面の都合上、県外からお越しいただく金澤翔子様についてご紹介します。

ダウン症の書家として知られ、法隆寺、東大寺をはじめニューヨーク等で個展を開催、国内外を問わず活躍する。大河ドラマ「平 清盛」揮毫。東京2020 公式アートポスター制作など。

（金澤翔子HP より）

＜定期総会報告＞

6 月 9 日（木）定期総会が開催されました。コロナ禍に伴い、理事・代議員のみの出席により、議事は全て可決していただくことができました。事業計画・予算案、各地区事業助成費案も承認されたことで、早速、各地区への助成費等の振込も終わりました。コロナ感染対策が求められる中ではありますが、各地区等においては、状況に応じて事業が推進され、児童生徒の皆さんの一助となることを期待します。

＜第 1 回理事会報告＞

7 月 8 日（金）会長、副会長、理事により第 1 回理事会が開催され、下記が確認・可決されました。

- ① 今年度の事業方針並びに事業計画について
- ② 手をつなぐ愛の募金運動について
- ③ 県大会並びに研修会について（大会実行委員会、大会事務局を中心にさらに推進する）
- ④ 大会における表彰状被贈呈者の推薦について
- ⑤ 特別委員会の設置について（裏面参照）

— 今年度の新役員・理事の皆様です —

ご協力いただけますようお願い申し上げます。	
P：地区会長	T：学校長代表（敬称略）
会 長	鈴木 秀明
副会長	佐藤 晴彦（塩谷地区会長：阿久津中 P）
//	大橋 衛（宇河地区会長：陽西中 P）
//	高山 優（下都賀地区会長：栃木西中 P）
理 事	中曽根康子（国分寺特別支援学校 P）
//	五味田 寿（国分寺特別支援学校長 T）
//	鈴木 佳之（宇河地区代表：陽西中 T）
//	江田 育史（上都賀地区会長：みどりが丘小 P）
//	江口 秀彦（上都賀地区代表：みどりが丘小 T）
//	佐藤 巧（芳賀地区会長：七井中 P）
//	皆川 浩司（芳賀地区代表：七井中 T）
//	藤間 亮子（下都賀地区代表：藤岡小 T）
//	石山 秀明（塩谷地区代表：阿久津中 T）
//	古賀 恒（那須地区会長：西小 P）
//	磯 隆幸（那須地区代表：西小 T）
//	齊藤 幹生（南那須地区会長：江川小 P）
//	安藤 育夫（南那須地区代表：江川小 T）
//	高橋 正人（佐野地区会長：天明小 P）
//	渋谷 隆夫（佐野地区代表：天明小 T）
//	尾澤 嘉孝（足利地区会長：基幹相談支援 C）
//	高野 貴市（足利地区代表：御厨小 T）
監 事	青木 均（塩谷地区代表：塩谷中 T）
//	猪瀬 寿代（県小学校長会代表：姿川第二小 T）

※顧問・相談役・参与・地区事務局担当の皆様にもお世話になります。

＜県内のうごきから＞

いちご一会とちぎ大会

「夢を感動へ。感動を未来へ。」をスローガンに「全国障害者スポーツ大会（いちご一会とちぎ大会）」が、10月29日（土）～31日（月）まで開催されます。本県各地の会場では、14競技が行われます。スポーツを通して、障害理解、障害のある方々の社会参加の推進を目指した祭典です。それぞれの立場で観戦・応援・ボランティア活動等をとおして、この祭典の趣旨に近づけられればと思います。



カルフルとちぎ 2022 こころのつどい

栃木県障害者文化祭が、11月11日（金）とちぎ福祉プラザ、わかくさアリーナで開催予定です。（開催最終決定は10月中旬）絵画、工芸、書道などの展示をとおして、障害者の自立と文化活動への参加促進、交流を通じ障害福祉への関心と理解を深めることを目的としています。

スポーツ面や文化面でも、障害の有無にかかわらず活躍の場が広がりつつあります。「心のバリアフリー」や「表現活動を受け止める側の価値観」などが話題になります。誰でも認め合い尊重し合えるような、多様性が当たり前の社会に近づいていくことを願います。

栃木県障害者コミュニケーション条例

本県では、4月1日に同条例が施行されました。障害の有無にかかわらず、互いにコミュニケーションを図り、情報の取得が円滑になることで、障害者の自立と社会参加を促し、互いに人格と個性を尊重し合い、共生する社会を実現することを目指しています。その手段は、例えば手話や点字をはじめ代読、平易な表現、実物又は絵図の提示、ICT機器など多様です。基本施策6項目には「学校教育の分野における利用の促進」が含まれています。学校での合理的配慮の提供にもつながります。



医療的ケア児等支援センター設置

栃木県医療的ケア児等支援センターくくるんが、宇都宮市徳次郎町に7月25日設置されました。地域で自分らしく暮らせるよう、医療的ケアが必要なお子さまとそのご家族、関係者の皆さんが、気軽に相談できる支援センターです。

＜特別委員会の設置について＞

本会が、これからの時代にさらに求められる会に近づけられるよう、「今後の在り方」を検討していくことが必要です。そこで「特別委員会」を設置し、今後の在り方を検討していくことが、第1回理事会で決まりました。経過は、「理事会」「総会」「ておやだより」などで報告させていただきますが、本会の方向性について、ご意見・ご要望等があれば、裏面に記述された発行元（県事務局）までご一報ください。

＜金融機関の硬貨入金手数料について＞

各金融機関の硬貨入金手数料の改定により、「手をつなぐ愛の募金」への影響が心配されます。募金に対する手数料の有無は金融機関により異なりますが、ご協力くださいます皆様のご負担が軽減できるよう県事務局として対応していきますので、何かあればお気軽にご連絡ください。

*** 今年度も「手をつなぐ愛の募金」にご協力をお願いします ***

令和3年度は、賛助会費も含め、募金総額 **3,841,150 円** の募金をいただきました。

県内、各地区の皆様、ご協力いただいた一般の方々、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・教育関係の皆様方の温かいお気持ちに、深く感謝申し上げます。浄財は、県内の特別支援教育活動を支援するとともに、児童生徒に還元できるよう大切に使用させていただきます。

今年度も、引き続き募金活動を行っています。募金は各学校で受け付けていますが、直接、募金口座に振り込むこともできます。口座は下記のとおりです。

（足利銀行 宇都宮西支店 （普通） 口座番号 **5005140**

（名義人） 栃木県特別支援教育手をつなぐ親の会 会長 鈴木秀明）